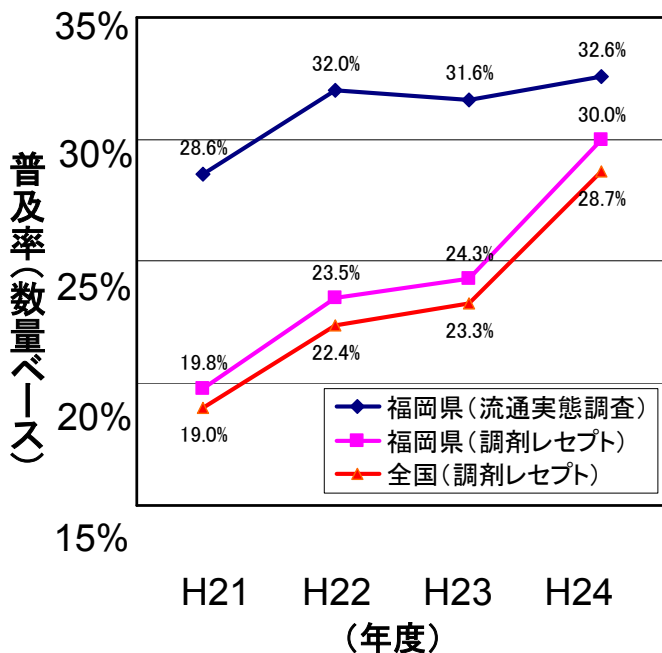


平成24年度までの地域協議会事業の実施状況等について

1

ジェネリック医薬品の使用促進に関する課題

ジェネリック医薬品普及率



<平成24年度福岡県内の普及率>

流通実態調査 32.6%

調剤レセプトベース 30.0%

平成24年度までに30%以上とする目標は達成した一方、調剤薬局における普及を進める必要がある。

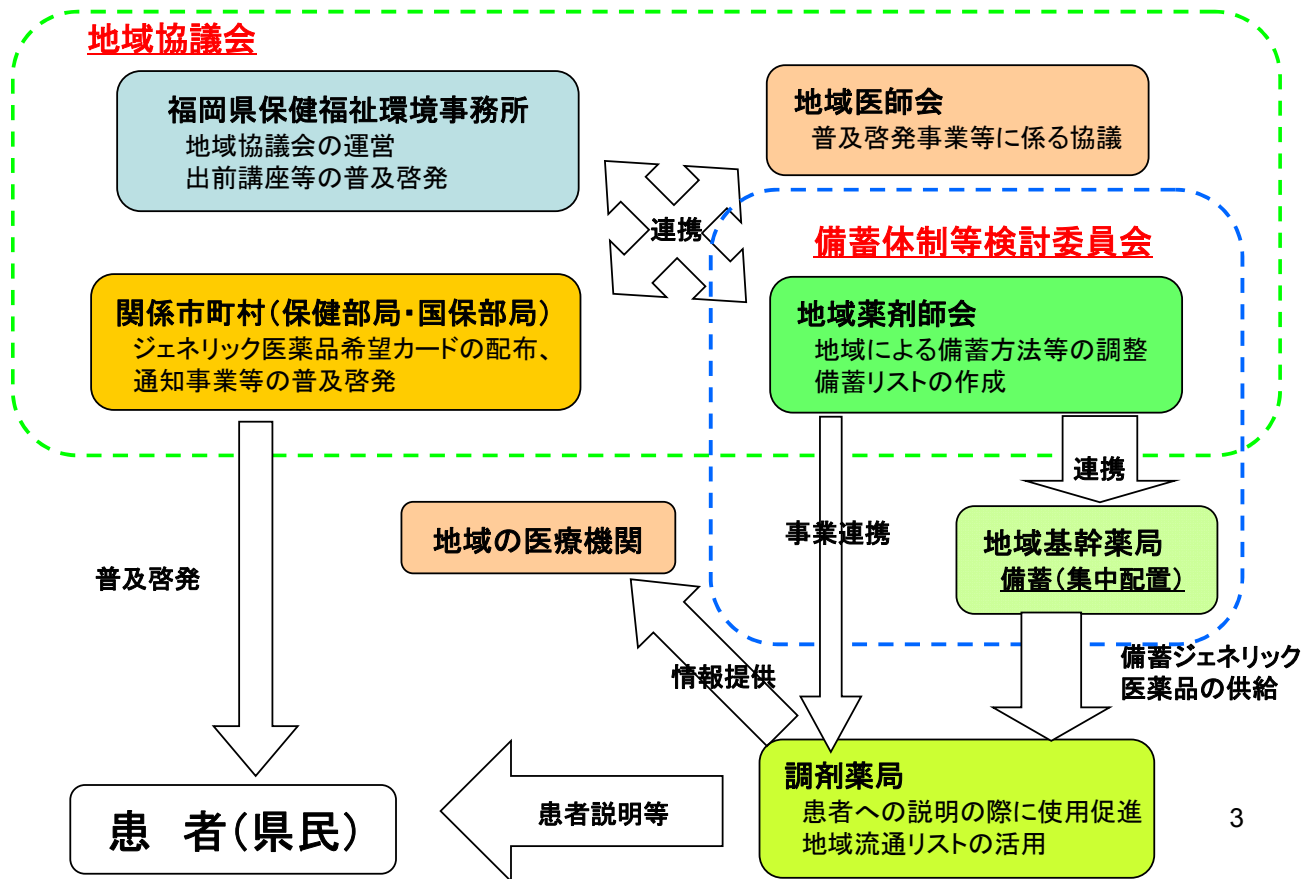
【新たな課題】

- ・県全体の取組に加え、地域の特性に応じた取組を実施すること
- ・調剤薬局における普及のさらなる促進を実施すること

※「全国(調剤レセプト)」及び「福岡県(調剤レセプト)」のデータは、厚生労働省の調剤医療費(電算処理分)の動向による。

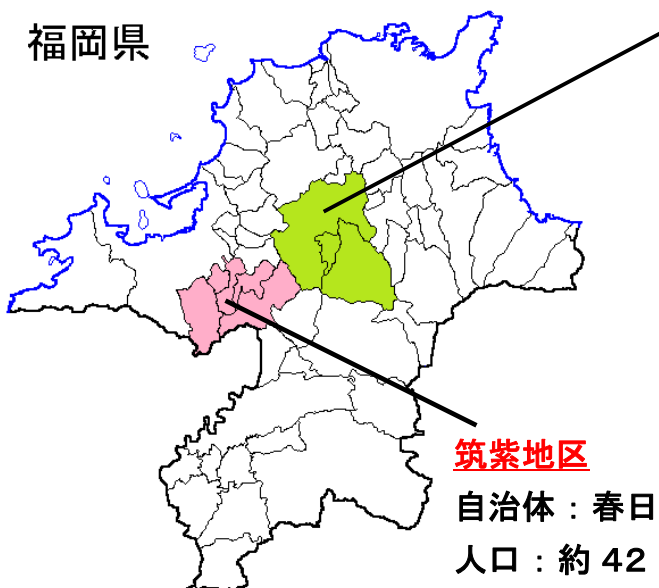
課題解決のために
地域協議会事業を実施²

地域協議会事業の概要



地域協議会事業実施地域について

筑紫・飯塚地区でモデル的に実施



飯塚地区

自治体：飯塚市・嘉麻市・桂川町

人口：約 19 万人

地区薬剤師会：飯塚薬剤師会

事業基幹病院：飯塚市立病院、飯塚病院
 済生会嘉穂病院

調剤薬局数：99 施設

筑紫地区

自治体：春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市、那珂川町

人口：約 42 万人

地区薬剤師会：筑紫薬剤師会

事業基幹病院：福岡大学筑紫病院、済生会二日市病院

調剤薬局数：176 施設

平成24年度の地域協議会開催実績

地域協議会

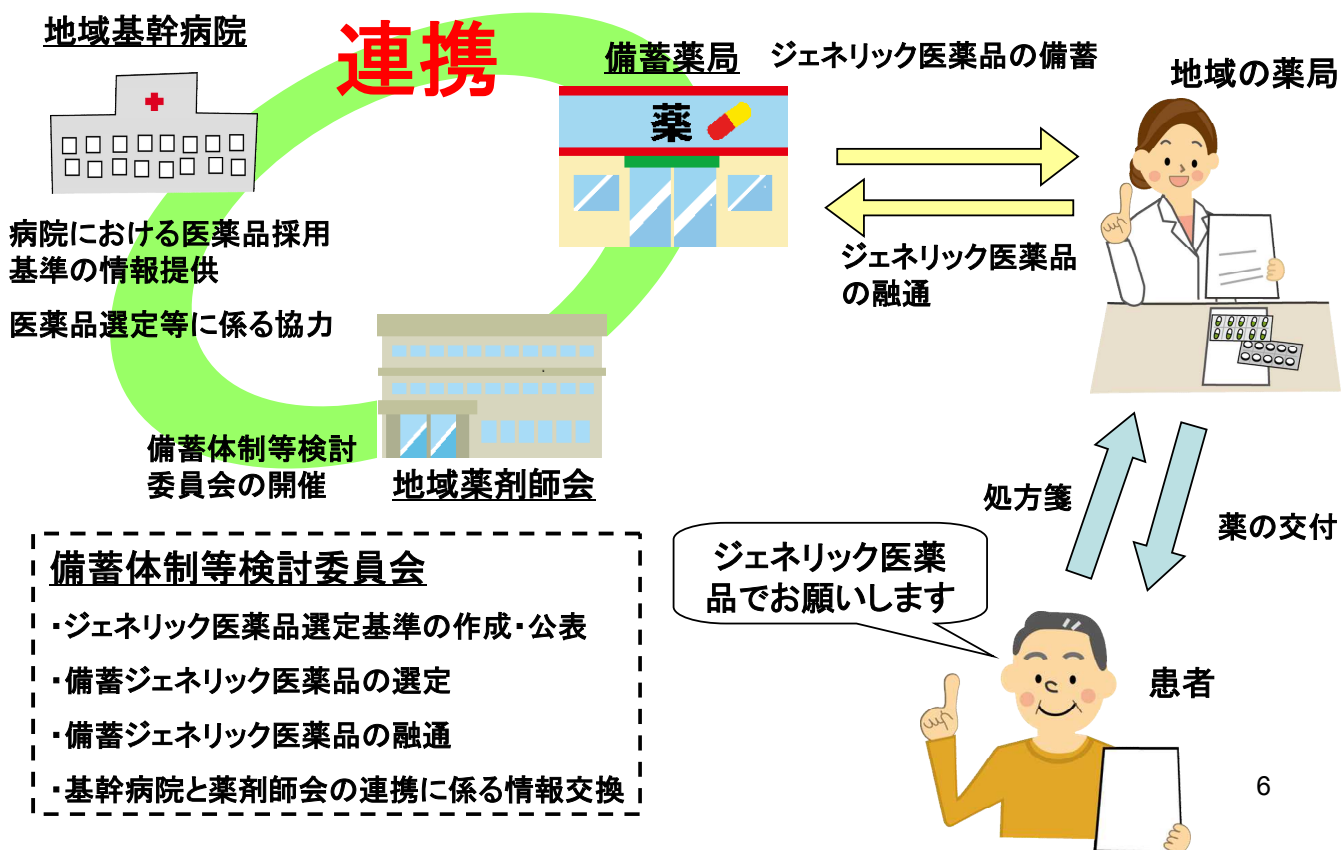
筑紫・飯塚両地区で3回ずつ実施

○協議内容

- ・ 基幹病院におけるジェネリック医薬品に係る取組の実施状況等について
- ・ 備蓄体制等検討委員会の検討内容について
 備蓄ジェネリック医薬品リストの選定方法について
 備蓄ジェネリック医薬品リストについて
- ・ 市町における取組について
 国保部局で実施している薬剤費削減額通知事業の実施状況 等

5

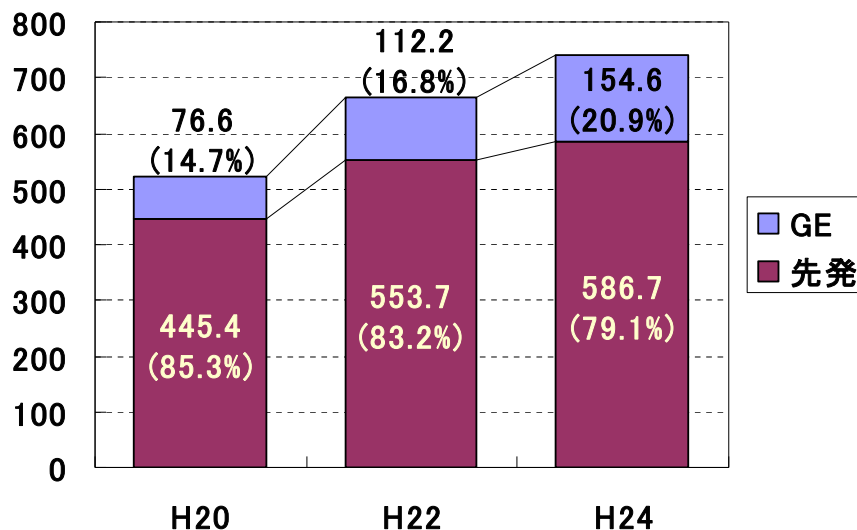
備蓄(集中配置)体制の整備について



6

薬局における在庫問題について

薬局の在庫品目数について



※ 福岡県薬剤師会会員薬局へのアンケート調査結果による
回答が有効であった施設について集計 (H20調査n= 1,443、H22調査n=1,959)

薬局の在庫品目数は増加しており負担になっている。ジェネリック医薬品のさらなる使用促進には、ジェネリック医薬品による在庫品目数増による負担を軽減する必要がある。

7

備蓄(集中配置)体制の整備について

☆事業内容

地域薬剤師会、地域基幹病院等により、製剤情報、地域での流通状況等に基づき選定したジェネリック医薬品のリストを作成し、そのリストにある医薬品を地域内の薬局に備蓄(集中配置)し、融通することで、地域内におけるジェネリック医薬品の使用促進を図る。

☆備蓄箇所

薬剤師会会員が経営する調剤薬局の中から、比較的規模が大きい調剤薬局を地区内でのバランスを考慮して決定

- ・ 筑紫地区：4か所
(市役所前調剤薬局、本町調剤薬局、春日野調剤薬局、いしばし薬局)
- ・ 飯塚地区：2か所
(スマイル薬局幸袋店、サンコー調剤薬局)

8

ジェネリック医薬品の選定基準について(筑紫地区)

筑紫地区備蓄体制等検討委員会におけるジェネリック医薬品選定基準

【選定対象】

2010年度医療用医薬品の中から国内で汎用されている内服薬及び外用薬

【選定基準】福岡大学筑紫病院で使用している選定基準を準用

必須

いずれかを満たす

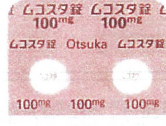


1. 保険適用が先発医薬品と同一で、しかも安定供給が見込まれる品目
ただし、保険適用が同一でないものの、併用される薬剤等からジェネリック医薬品への変更可否が容易に判断できるものは検討の対象とする。
2. 高度専門病院、公的病院、特定機能病院等で採用され、これまでに問題点が報告されていない品目
3. 先発医薬品より製剤学的な改良がみられる品目(付加価値製剤)
4. 信頼できるメーカーが製造する品目
5. 治療学的同等性が証明されている品目
6. 一包化調剤が可能な口腔内崩壊錠
7. 卸を通じて、比較的容易に入手できる品目

【再考要件】

問題発生時は品目選定を再検討

ジェネリック医薬品の選定方法について(筑紫地区)

先発品との比較表

	先発品	後発品	後発品
商品名	ムコスタ錠100mg	レバミピド錠100mg「サワイ」	レバミピド錠100mg「EMEC」
販売会社名	大塚製薬株式会社	沢井製薬株式会社	エルドメッド・エーザイ株式会社
薬価	19.30円/錠	13.10円/錠	13.10円/錠
包装	PTP: 100錠(10錠×10)、500錠(10錠×50)、1,050錠(21錠×50) バラ: 500錠	PTP: 100錠(10錠×10)、500錠(10錠×50)、210錠(21錠×10)、1,050錠(21錠×50) バラ: 500錠	PTP: 100錠(10錠×10)、500錠(10錠×50)、210錠(21錠×10)、1,050錠(21錠×50) バラ: 500錠
効能効果	1. 胃潰瘍 2. 下記疾患の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期	違い無し	違い無し
用法用量	1回100mgを1日3回	違い無し	違い無し
製剤			
添加物	結晶セルロース、酸化チタン、ステアリン酸Mg、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000	カルナウバロウ、結晶セルロース、酸化チタン、ステアリン酸Mg、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000	カルナウバロウ、カルメロースカルシウム、酸化チタン、ステアリン酸Mg、タルク、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、マクロゴール6000
安定性	温度(50°C6ヶ月): 変化なし	温度(40°C3ヶ月): 変化なし	温度(40°C3ヶ月): 変化なし
	湿度(25°C75%RH3ヶ月): 変化なし	湿度(25°C75%RH3ヶ月): 硬度の低下有り	湿度(25°C75%RH3ヶ月): 硬度の低下有り
	光(室内散光600-830lx): 変化なし	光(120万lx・hr): 硬度の低下有り	光(120万lx・hr): 変化なし
規制区分貯法	室温保存	室温保存	室温保存
採用薬局数(2010在庫表より)		ENIF+19件	ENIF+19件

ジェネリック医薬品選定リスト(筑紫地区)

分譲期間 平成24年6月1日から平成25年3月31日まで

筑紫地区備蓄医薬品リスト

別表②

薬効分類	解熱鎮痛消炎剤	一般名	ロキソプロフェンナトリウム	薬価	14.2	GE選定基準(適合するもの◎)							特記事項
医薬品名	ケンタン細粒10%					1	2	3	4	5	6	7	対先発数量比が高く、発売から15年が経つが問題ない。
		先発医薬品名	ロキソニン細粒10%	先発薬価	34.4	◎	◎		◎			◎	
薬効分類	解熱鎮痛消炎剤	一般名	ロキソプロフェンナトリウム	薬価	6.1	GE選定基準(適合するもの◎)							特記事項
医薬品名	ケンタン錠60mg					1	2	3	4	5	6	7	福大筑紫病院採用...治療学的同等性報告あり
		先発医薬品名	ロキソニン錠60mg	先発薬価	18.6	◎	◎		◎			◎	

薬効分類 先発医薬品名 一般名 薬価 選定基準の適合性 特記事項

ジェネリック医薬品名

筑紫地区ジェネリック医薬品選定リストの記載事項

- ・ 薬効分類
- ・ 医薬品名（選定したジェネリック・先発・一般名）・薬価
- ・ 選定基準に適合しているかについて
- ・ 特記事項（例：福大筑紫病院採用、治療学的同等性報告あり等）
- ・ **注意事項**（各ページ表外下段に表示）

「このリストは検討委員会で選定されたものであり、医薬品の選定・購入を強制するものではありません」

11

ジェネリック医薬品の選定基準について(飯塚地区)

飯塚地区備蓄体制等検討委員会におけるジェネリック医薬品選定基準

【選定対象】

- ①飯塚市立病院において採用しているジェネリック医薬品から選定
- ②地域での流通状況等を考慮して選定したジェネリック医薬品を追加(予定)

【選定基準】 飯塚市立病院で使用している選択基準を準用

下記の条件を満たし、医療・安全管理上特に有益性が高いと認められるもの

1. 効能・効果、適応が先発医薬品と同等であること
2. 成分及び含有量が先発医薬品と同等であること
3. 剤形又は剤形の機能が先発医薬品と同等、あるいはそれ以上であること
4. 医薬品添付文書に体内動態データ記載があること
5. 体内動態データが先発医薬品と差がなく、それが治療に影響する可能性がないもの
6. 発売後ある程度時間が経過し、効果あるいは副作用発現頻度等において先発医薬品と同等以上の評価がえられていること
7. 情報提供、安定供給、責任体制が十分であること
8. 名称・形態の類似性により安全管理上問題がないもの

12

ジェネリック医薬品の選定リスト(飯塚地区)

薬効分類	その他のアレルギー用薬	後発医薬品名	アレジオテック錠20	薬価	102.30	販売 メーカー	沢井製薬
一般名	エピナスチン塩酸塩	先発品名	アレジオン錠20	薬価	162.90		
薬効分類	その他のアレルギー用薬	後発医薬品名	ピナトスカプセル10mg	薬価	11.20	販売 メーカー	日本化薬
一般名	イブジラスト	先発品名	ケタスカプセル10mg	薬価	27.80		

薬効分類 一般名 ジェネリック医薬品名 先発医薬品名 薬価 メーカー名

飯塚地区ジェネリック医薬品選定リストの記載事項

- ・ 薬効分類
- ・ 医薬品名（選定したジェネリック・先発・一般名）・薬価
- ・ ジェネリック医薬品販売メーカー名
- ・ **注意事項**（各ページ表外下段に表示）

「このリストは検討委員会で選定されたものであり、医薬品の選定・購入を強制するものではありません」

筑紫地区との違いについて

- ・ 飯塚市立病院で採用されている時点で、備蓄体制等検討委員会の選定基準も満たしているため、基準への適合性の欄がない

13

地域協議会事業について(まとめ)

地域協議会について

・ジェネリック医薬品の普及について、県・市町村・地域医師会・地域薬剤師会で情報交換し、連携するための場として活用された。特に、市町の国保部局において実施された薬剤費削減可能額通知事業についての情報を地域の医療関係者で共有することは、通知の効果を上げるために重要であると考えられる。

備蓄(集中配置)体制の整備について

・筑紫地区は、福岡都市圏からも近く、様々な病院の処方箋が持ち込まれるため、一つの基幹病院の採用リストをそのまま選定するのではなく、売上の高いもの≡使用量の多いものと考え、選定品目を限定した。

・飯塚地区は、飯塚市立病院の処方箋が持ち込まれることが多いため、飯塚市立病院の採用リストにある品目が、地域において使用される可能性の高いジェネリック医薬品であり、使用促進の効果が高いと考え、品目を選定した。

ジェネリック医薬品の分譲状況(平成24年6月～平成25年3月末)

- ・筑紫地区: 400件
- ・飯塚地区: 32件

14